

大型X線検査装置整備等経費(財務省)

取りまとめ

- 近年、密輸手口が多様化・巧妙化、海上貨物の取扱いも急増しており、大型 X 線検査装置を活用した水際での効果的・効率的な取締りが益々重要となっている。こうした中、密輸の取締りを行う事業の性質上、情報の開示が難しい部分はあるが、本装置による取締りの効果について不断な検証及び検証結果の反映が重要である。その際、大型 X 線検査の配備とともにその他の検査体制も含めて、さらなる効果的・効率的な配備・運用に努めるべき。
- 本事業の目的の一つとして「貿易円滑化の推進」も掲げられている中、一連の検査時間の効率化など、当該目的への効果についても、他の事業も参考にしつつ、定性的なものも含めたアウトカム指標を設定し適切に検証すべき。
- 検査の効果的・効率的な実施に当たっては、X 線画像の解析を行う職員の資質・ノウハウに加え、AI 等の先進技術の活用も有用と考えられることから、海外の事例も研究しつつ、こうした技術の導入を含む検査の質の向上について、不断の取組を行うべき。